

CASBEE神戸ver.3
神戸駅前プロジェクト

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.40		-	3.3
1 音環境						3.9	0.15	3.4	1.00	3.7
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						4.7	0.40	4.1	0.40	
1 開口部遮音性能		客室窓遮音等級T-2				5.0	0.88	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		客室・事務所間仕切壁TLD55相当				3.0	0.12	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		タイルカーペット採用				3.0	-	5.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	2.0	0.20	
1.3 吸音		床タイルカーペット、壁GW吸音材、天井GW吸音材敷込み				4.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.2	0.25	4.1	1.00	3.5
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		共用部分:3.1%、宿泊部分:5.1%、事務所部分:2.8%				5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.29	4.0	0.30	
1 昼光制御		カーテン+庇				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						2.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		個別制御可能				3.0	0.26	5.0	0.25	
4 空気質環境						3.5	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材の利用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.30	2.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.44	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	0.12	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.44	3.0	0.33	
4.3 運用管理						3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.17	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	0.83	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.9
1 機能性						2.5	0.40	2.2	1.00	2.4
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	2.0	0.60	
1 広さ・収納性						3.0	0.10	1.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.10	3.0	0.50	
3 バリアフリー計画						3.0	0.80	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.5	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		客室内天井高さ2810				4.0	0.10	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	0.10	-	-	
3 内装計画						1.0	0.80	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.5	0.30	-	-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		構造体Ⅱ類				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクトにガルバリウムダクト採用				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		管理部分空調系統分け				5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.1	0.30	2.7	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			4.0	0.10	2.4	0.50	
1 階高のゆとり		1F:5300、2F:5500、3F:5000、4F:5100、5~12F:3300	5.0	0.53	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.47	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.10	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.79	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.6
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺建物より低い建物高さ。周辺建物と連続した街路空間の形成	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		ピロティによる中間領域の創出	3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		道路に面し開放性の高いロビー、連続した歩行者空間の創出	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI _m]=0.86	4.4	0.20	-	-	4.4
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			2.7	0.50	-	-	2.7
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器の使用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装LGS下地、OAフロアの採用、鉄骨躯体ボルト接合	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1 消火剤		不活性ガス消火剤の使用	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		屋上緑化による熱負荷低減	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			3.0	0.50	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	